

井原市公共交通会議（令和 8 年度第 1 回）議事録

と き 令和 8 年 6 月 4 日（木）

10 : 00 ~ 11 : 30

ところ 井原市役所 4 階 大会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

・出席者 委員 23 名中 22 名（内代理出席 2 名）

2. 委嘱状交付・委員紹介

・委員の異動について報告

3. 市長あいさつ

4. 役員選出

会長・大舌市長、副会長・橋本委員、監査委員・佐藤委員、境野委員が選出され、承認

5. 協 議

1) 令和 7 年度井原市公共交通会議事業報告について

2) 令和 7 年度井原市公共交通会議歳入歳出決算について

・事務局より資料 1.2 について説明

(会長) はじめに監査結果について報告をお願いしたい。

(委員) 適正に処理されていることを報告する。

(会長) 令和 7 年度井原市公共交通会議事業報告及び歳入歳出決算について意見・質問等あるか。

(副会長) バス停サポーター制度について、現時点でバス停サポーター制度により、これまで設置したベンチは市内で何ヶ所あるのか。報告ではベンチの新設はなく更新を実施したようだが、新設の必要はないという判断なのか。また、更新の判断基準や新たに設置が必要な場所等があるかも教えていただきたい。

(事務局) バス停サポーター制度によって設置したベンチは、バス停のある公民館、ゆめタウン井原、芳井マーケット等の市内 14 箇所で、座ってバスを待ってもらえるように、地域や事業者の協力を得て設置している。更新については、毎年度事務局が状況確認して更新の判断をしているが、地域から更新の要望を聞くこともあり、令和 6 年度に 4 基、令和 7 年度に 2 基を更新している。今後は、あいあいバスや幹線となる路線バスの停留所を対象に運行事業者からの聞き取り等を踏まえて新設を検討したい。

(副会長) バス停の更新については、事務局で状況を確認していると思うが、怪我等があってはいけないのでしっかり確認してもらいたい。新設についても検討してもらえるようなので、地域からの要望等があれば会議の中で意見をもらいたい。

(会長) 令和 7 年度井原市公共交通会議事業報告及び歳入歳出決算について承認しても良いか。

### 【1)、2) 令和 7 年度事業報告、決算承認】

#### 3) 令和 8 年度井原市公共交通会議事業計画 (案) について

#### 4) 令和 8 年度井原市公共交通会議予算 (案) について

・事務局より資料 3.4 について説明

(会長) 令和 8 年度井原市公共交通会議事業計画 (案) 及び予算 (案) について意見・質問等あるか。

(委員) 資料 3「令和 8 年度井原市公共交通会議事業計画 (案)」の 11 頁、12 頁で「あいあいカー」や「予約型乗合タクシー」など表記が複数あるので統一させた方がわかりやすい。予約型乗合タクシーは運行する地域によって名称が異なるため統一した方が高齢者の理解も得られやすいのではないか。

(事務局) 表記の統一を含めてわかりやすい資料作成を心がけたい。

(会長) 先ほどの意見については、「予約型乗合タクシー」はタクシーを使った交通だと理解できるが、「あいあいカー」ではタクシーのイメージが付かないため、例えば、「あいあいタクシー」といったタクシーをイメージしやすい名称にしてはどうかという意味も含んでいたかと思う。名称の変更を考えてはいないのか。

(事務局) 令和 4 年度の実証運行から「あいあいカー」の名称を用いて運行しており、一定の認知度があると認識している。一方で「あいあいタクシー」と間違えて言われる方もおられるため、当面は「あいあいカー」として運行するものの、今後の予約型乗合タクシーの再編・見直し検討の中で、統一的な名称についても検討の必要がある。

(委員) バス停サポーター制度について、資料 3 の 13 頁にベンチの写真が載っているが、設置するのはベンチだけで雨除けは設置の対象にならないのか。

(事務局) 写真のバス停は四季が丘団地で、雨除けについては公共交通会議では整備しておらず、ベンチのみを設置した。

(委員) 屋根のないバス停もあるがどうしているのか。

(事務局) 設置場所については、事業所やスーパー内の敷地等を使用させてもらって

いる。雨風を防げる屋根までの整備はしておらず、ベンチのみ設置している。

(副会長) 今年度の事業計画については、第2期計画を踏まえた内容となっているが、13頁の事業内容等は、昨年度の事業内容と変わっていない項目もある。毎年度、継続的に事業を実施することは重要だが、定型化していないか懸念している。毎年、事業が上手に回っているのであれば良いが、新しい地域公共交通計画によって加味する点があれば、そこは資料でも強調してほしい。

公共交通かわら版については、年6回の全戸配布を毎年続けていることは褒めるべきことで、LINEでの配信を進めていけば他自治体にもPRできる材料になると思う一方で、井原市の公式LINEアカウントを使った情報発信が多くの人に届くか懸念している。福山市では人口50万人弱に対して18万人が市のアカウントとつながっており、市民だけではなく通勤など市に関わっている人も入っていると思うが非常に多い数字である。井原市でも多くの市民が市のアカウントとつながったら様々な施策に対するメリットも大きいと思われるので、DXの推進にも積極的に取り組んでもらいたい。

(会長) 令和8年度井原市公共交通会議事業計画(案)及び予算(案)について承認しても良いか。

### 【3)、4) 令和8年度事業計画、予算承認】

## 5) その他

・岡山県より「岡山県地域公共交通ビジョン」について説明

(委員) 交通事業者の人材確保、交通事業者への支援については喫緊の課題だと感じている。人材育成・人材確保の対策、事業者との連携等について具体的な内容を教えていただきたい。

(岡山県) 喫緊の課題に対して即効性のある解決策は見つかっていないが、岡山県としてはできることを実施していきたい。県内の各交通事業者が採用活動や人材の定着に取り組んでいる中、県の立場からの取り組みに対する周知及び支援として、就職説明会や運転体験会の開催や就職マッチングの機会拡大、外国人人材の活用、二種免許取得の補助等を継続して実施していく予定である。

(委員) 補足だが、井原市でも二種免許といった資格を取得するための費用の1/2を補助する制度がある。

(委員) 大型バスの運転手が不足しており、岡山県と井原市の補助を活用して資格取得を進めている。資格取得は、最も費用が掛かる部分であるため補助金

の拡大を検討してもらいたい。また、別件になるが、軽自動車をタクシーに活用する動きがある。弊社としては安全面も考えて、軽自動車による運行は考えていない。

(副会長) ビジョンに紐づいた形で県の事業が計画されているので、自治体から県に対して早めに相談してもらいたい。困っている自治体は多いと思うので県の立場で尽力いただきたい。

(会長) その他、全体を通してご意見等あればお願いしたい。

(委員) 地域の説明会が昨年は3回開催されたと聞いているが、もう少し回数を増やせないか。イベントや会合などを利用して公共交通利用に対する意識を醸成してほしい。

(事務局) 今年度は回数を増やして実施したいと考えている。また、委員の皆さんから地域の集まり等の機会を教えていただければ、調整して説明会を実施することもできる。

(委員) バスや乗合タクシーだけでなく、タクシーも積極的に使ってもらいたい。タクシーも公共交通の一部であり、困った時にはタクシーが最も役に立つ一方、地域からタクシー事業者が撤退してしまうケースも見られる。また、一度撤退したタクシーが地域に戻ってくることは非常に難しいため、タクシーも使ってもらえるような仕組みづくりをお願いしたい。

## 6. 閉会

(副会長) 本日は多くの発言をいただき感謝申し上げます。新しい地域公共交通計画策定後初めての会議で事務局も含めて次のステップへ進んで行こうという意欲が見られる。岡山県の地域公共交通ビジョンも策定されたことから、今後も市と県で連携をお願いしたい。

以上